



<https://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和8年10月



まるごとあそっ子スクール親子で稲刈り体験イベントに参加した皆さん(本誌9ページで紹介)

■今号16ページ 主な内容

- 令和8年産米集荷推進大会／阿蘇コシヒカリ初検査・出発式
- JA阿蘇青壮年部と女性部が常勤役員らと意見交換
- 「野菜の日」阿蘇の農産物をPR
- ローコスト給油所完成・女性部7支部「一斉クリーン作戦」
- 生産各支部の生育・出荷・査定会・総会などの情報
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント!etc.

今号も話題と情報を満載!!

Instagram



ホームページ



● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088



VOL. 149

「令和8年産米集荷推進大会」 仮払金1万3,020円 加算金最大6,000円を新設 14万俵集荷へ

JA阿蘇は9月7日、阿蘇市で「令和8年産米集荷推進大会」を開き、2026年産米の仮払金を特別栽培米コシヒカリ1等米1俵(60kg)当たり1万3020円としました。前年の3万3240円から2万2200円の引き下げとなります。一方、生産者の所得確保を図るため、今年から新たに「安定供給加算金」を設定。前年の出荷実績などに応じて、1俵当たり最大6000円を上積みすることとし、仮払金と加算金を合わせると最大1万9020円となります。

原山寅雄組合長は、急激な米価下落について生産者の厳しい経営環境に触れ「JAは農家のためにある。この思



「JAの力を結集し集荷・販売に全力で取り組む」と決意を述べる原山組合長

「厳しい米価情勢、JAの力を結集し集荷・販売に全力で取り組む」

いを決して忘れず、生産者が安心して米作りを続けられる環境をつくること、が私たちの使命だ。厳しい米価情勢だからこそ、JAの力を結集し、集荷・販売に全力で取り組む」との考えを示しました。

同大会は今回で2回目を迎え、生産者やJA関係者ら約140人が出席し、26年産米の集荷・販売戦略などを共有。米を取り巻く情勢が大きく変化する中「めざせ14万俵集荷」を掲げ、管内全域で集荷拡大を進めます。

本年3月に設立した「阿蘇ブランド推進協議会」と連携し、阿蘇産米のブランド力を高め、安全・安心で高品質な米の生産と販売を後押しし、阿蘇ならではの自然環境や生産者のこだわりを発信。消費者から選ばれるブランド米の確立を目指します。

大会ではこのほか、2026年産米の価格下落および生産者の「営農継続危機に関する緊急要望書」を阿蘇市町村会に提出しました。



松嶋阿蘇市長に提出された「営農継続危機に関する緊急要望書」

2026年産「阿蘇コシヒカリ」全量1等米 初検査と出発式を行う



阿蘇コシヒカリ出発式での関係者らによるテープカット

JA阿蘇は9月10日、農業倉庫「米夢(まいむ)」で2026年産「阿蘇コシヒカリ」の初検査と出発式を行い、阿蘇地域が誇る新米の本格出荷がスタートしました。初検査では4軒の生産者から持ち込まれた約30tを検査員が米粒の形や色つや、水分量、粒の張り具合などを確認しました。今年は4月から6月にかけて作付けが進み、育苗から田植え後まで順調に推移。梅雨明け以降は少雨となったものの、生産者による適切な水管理などで生育を維持。出穂や成熟も平年より若干早く進み、病害虫による大きな被害もなく、この日持ち込まれた全量が1等米という結果となりました。

出発式では関係者がテープカットを行い、新米の門出を祝いました。JA阿蘇稲作部会の立石翼部会長は「無事に初検査、初出荷を迎えることができた。生産者が丹精込めて育てた阿蘇の米を、一人でも多くの方に食べてもらいたい」と喜びを語り、原山寅雄組合長も「資材価格が高騰する中でも努力して米を生産している生産者の思いをしっかりと受け止め、生産者・JA・会員事業者の三位一体で阿蘇産米の価値を伝え、生産者所得の向上につなげたい」と抱負を述べました。この日出荷された米は「youyouくまもと農産物市場」などで販売されます。また、小国町と南小国町のフードバンクへ阿蘇産米贈呈や新米おにぎりの振る舞いも行われました。(写真左「挨拶する立石翼稲作部会長／出荷される新米」)





「より良い」JA運営へ率直な声
青壮年部・女性部が常勤役員らと意見交換



意見を述べる青壮年部
高本部長

J A阿蘇青壮年部と女性部は8月18日、一の宮中央支所で「令和8年度J A阿蘇常勤役員・参事・部室長との対話集会」を開きました。対話集会には青壮年部・女性部の代表者と常勤役員・参事・部室長ら30人が出席。農業や地域活動、J A事業などについて意見を交わしました。同集会は、青壮年部・女性部の活動を通して寄せられる現場の声や要望を直接聞き取り、今後のJ Aの事業運営や組織活動に反映さ



意見を述べる女性部
後藤部長

せることを目的に開催され、J A役員が直接対話することで、現場が抱える課題やニーズを共有するとともに、相互理解を深め、今後の取り組みにつなげます。

意見交換では、農業所得の向上や農業資材価格の高騰、担い手確保など農業現場が抱える課題について意見が出されました。また、女性部からは組織活動の活性化や次世代への活動継承、地域とのつながりなどについて意見や要望が寄せられました。

出された意見に対し、常勤役員や各部室長らがJ Aの取り組みや考え方を説明。参加者と活発に意見を交わし、現場の実情や課題について認識を共有しました。

原山寅雄組合長は「青壮年部、女性部の皆さんの声は、今後のJ A運営にとって大切なもの。今回いただいた意見や要望をしつかり受け止め、できることから具体的な取り組みにつなげていきたい」と結びました。（写真右上）
意見や要望に答える原山組合長

管理職が労務管理と事業運営学ぶ
IIコンプライアンス
責任者・担当者研修会II

J A阿蘇は9月14日、一の宮中央支所でコンプライアンス責任者・担当者研修会を開き、管理職らが労務管理やJ A阿蘇の事業運営の現状と見通しについて学びました。

研修では社会保険労務士法人上田事務所の上田吉勝所長が「管理職のための労務管理研修」を行い、管理職に求められる労務管理の基本や職員との適切な関わり方などについて説明。職場におけるコンプライアンスの重要性を確認しました。続いて河津参事が「J A阿蘇の事業運営の現状と見通しについて」管理職に持つほしい共通認識「〜」をテーマに、人材確保が難しくなる中、将来の人員減少を見据え、限られた人員で組合員の営農とくらしを支えるための事業・業務改革について説明しました。

そして、これまで進めてきた営農・経済事業の改革で培ったノウハウを生かし、今後はJ A全体の事業や業務の在り方を見直すJ A独自の方針を示しました。業務の可視化や標準化、ITの活用などによって業務を効率化し、生み出した時間や人員を組合員への相談対応や営農支援など、より付加価値

の高い業務に振り向ける考えを共有しました。

説明後はグループ討議を行い、参加者がそれぞれの職場の課題や業務の進め方について意見を交換。組合員サービスを維持・向上させるために、管理職として何を見直し、どのように職員をまとめていくかについて議論しました。参加者は研修会を通じ、適切な労務管理と組織運営の重要性を学ぶとともに、将来を見据えた改革について管理職同士で意見を出し合いました。



管理職によるグループ討議の様子





JA阿蘇が新たな運営モデル ローコスト型給油所 本所敷地内に完成



JA阿蘇が4月下旬から建設を進めていたローコスト型給油所が一の宮町本所敷地内に完成しました。

①POSシステムの導入②隣接する購買店舗職員による給油作業③建設費用を抑えたローコスト型施設という、3つの仕組みを組み合わせた給油所は、熊本県内のJAで初めて建設されました。

落成式は9月1日に行われ、JA阿蘇役職員・JA熊本経済連・JA全農・建設関係者ら約30人が出席。新たな給油所の完成を祝うとともに、今後の事業発展と安全な運営を祈願しました。

同給油所は、2024年9月に閉鎖した旧一の宮給油所閉鎖後、組合員や地域住民から再開を求める声が多く寄

せられ、地域の生活を支えるインフラとして給油所の必要性が高まっていたため、旧給油所に近い本所敷地内に設置されました。

新給油所は、利用者の利便性を確保しながら、効率的で持続可能な運営を実現するため、新たに導入されたPOSシステムで給油や精算業務を効率化するとともに、クレジットカードやプリペイドカードなど多様な決済方法に対応しています。また隣接する購買店舗職員が給油作業などを担うことで、専属職員を置かず既存の人員を有効活用する体制となっています。さらに、設備仕様や施設規模を見直したローコスト型として、従来型の給油所と比べ建設費を約4分の1、施設規模を約6分の1に抑えました。

POSシステムによる業務効率化、購買店舗職員による給油作業、施設のローコスト化を一体的に進めることで、利便性と効率性を両立した新たな給油所の運営モデルを実現しました。

原山寅雄組合長は「地域の皆さまから寄せられていた給油所再開を望む多くの声を、今回こうして実現することができ大変うれしく思う。地域にとって大切な給油所として、これからも皆さまの暮らしを支えていきたい。ぜひ多くの方に利用していただきたい」と話していました。

8月31日「野菜の日」 熊本市の「びぶれす広場」で 阿蘇地域農産物の魅力をPR

JA阿蘇は8月29日、熊本市中央区の「びぶれす広場」で開かれた8月31日の「野菜の日」に合わせた恒例イベントに参加しました。

会場には熊本県産の夏秋野菜12品目並び、産山地区特産のチンゲンサ

新給油所は落成式終了後の午後から地域住民や組合員の新たな給油拠点として、本格稼働を始めました。

JA阿蘇では、今回の給油所を新たな運営モデルの一つと位置付け。今後の利用状況や採算性を検証しながら、地域の需要や立地条件に応じた効率的な給油所運営を目指していきます。



写真右上=テープカットの様子
写真上=本所敷地内に完成したローコスト型給油所

イや小国郷地区特産の生シイタケなど、管内で生産されている夏秋野菜を販売するとともに、産地や特産品の特徴を紹介しながら阿蘇地域の農産物の魅力をPRしました。

販売を担当した河津勝職員は「実際に商品を手にとっていただき、阿蘇の農産物に関心を持ってもらう貴重な機会となった。これをきっかけに阿蘇の野菜を知り、味わっていただける方が増えてほしい。今後もさまざまな機会を通じて、阿蘇の農産物の魅力を発信していきたい」と抱負を話していました。(写真左=阿蘇の特産物をPRする様子)



令和8年9月

マネー・ローndリング・テロ資金供与 及び金融犯罪対策強化に向けた取組について

J A 阿蘇代表理事組合長 原山 寅雄

近年、フィッシング詐欺等の金融犯罪が増加し、詐欺被害防止に取り組んでいるものの犯罪の手口は巧妙化・多様化しており、特殊詐欺等による被害は拡大し社会問題化しております。

当組合では、金融機関としての信頼を確保すること、組合員・利用者の皆さまの大切な財産を金融犯罪からお守りすることを目的に、マネー・ローndリング・テロ資金供与対策（以下、マネロン対策）や反社会的勢力等との取引排除を経営戦略における重要な課題の一つとして位置付け、政府指針や関係法令等を遵守して一層力を入れて取組みます。口座開設審査等、適切な取引時確認実施による取引モニタリングを強化し、継続的顧客管理の定着に努め、リスク評価に基づいた措置を講じるとともにモニタリングで判明した疑わしい取引については、速やかに届出を行い、状況等をリスク管理強化に活用します。

金融機関に求められている「継続的顧客管理」についても、職業や取引目的等にかかる最新の顧客情報を確認してまいります。また、特殊詐欺被害防止の為、「警察への通報基準」に従って当該基準に抵触する場合は通報し、組合員・利用者の皆さまの財産をお守りする為、地元警察署と連携します。

当組合では、実効性のある管理態勢を確立する為に、役員は主体的・積極的にマネロン対策に関与し、適切な措置を適時に実施できるよう対応の高度化を図ります。専門部署と金融犯罪対策リーダーが中心となり専門性や経験を踏まえた経営レベルでの人員確保や役職員に対して、役割に応じた適切・継続的な研修・教育を行い、組合全体でマネロン対策や金融犯罪強化にかかる専門性・適合性の維持・向上に努め、組合員・利用者の皆さまに安心してご利用いただけるよう取り組んでまいります。

「夏の農機・自動車展示会」 販売実績1億5900万円

J A 阿蘇は7月上旬、中部地区と南部地区の2会場で「夏の農機・自動車展示会」を開きました。

会場にはトラクターや管理機、草刈機などの農業機械をはじめ、軽トラックや乗用車などが展示され、メーカーの担当者やJ A職員が機械の特徴や操作方法を説明し、組合員一人ひとりの経営規模や作業内容に応じた提案を行っていました。

期間中は多くの組合員や地域住民が来場し、農業機械や車輛に関する相談のほか、営農に関する悩みや要望も寄せられ、展示会は、来場者との意見交換を通じてニーズを把握する機会にもなりました。

購買部担当者は、「多くの組合員の皆さまにご来場いただき、一人ひとりと直接お話しすることができた。いただいた声を今後の提案やサービス向上につなげ、地域農業を支えていきたい」と話していました。

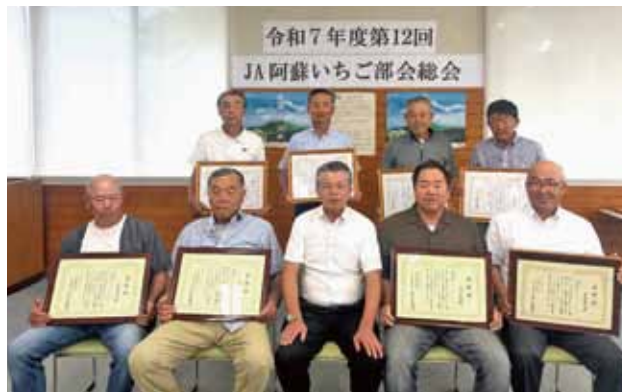
販売実績は2会場合わせて1億5900万円となり、農業機械や車輛の需要に応えるとともに、地域農業を支える展示会として成果を収めました。

（写真下二いずれも「夏の農機・自動車展示会」会場での様子）



生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報①

イチゴ販売8億3832万円
販売数量510tともに前年超え
ⅡJA阿蘇いちご部会総会Ⅱ



販売実績や栽培成績が優秀で表彰されたいちご部会の方々

JA阿蘇いちご部会は8月上旬、一の宮中央支所で通常総会を開き、部会員やJA役職員ら約50人が出席しました。総会では令和7年産事業報告や同8年度事業計画など9議案を審議。全て原案通り可決・承認しました。

令和7年産は生産・販売体制の強化や栽培管理の徹底に取り組んだ結果、販売数量510t（前年比104%）、販売金額8億3832万円（同105%）と、数量・販売額ともに前年を上回る好成績を収めました。育苗期や春先は高温傾向となったものの、適期定

植や温度管理を徹底したことで生育は順調に推移。10月下旬から6月上旬まで安定した出荷を続け、市場からも高い評価を得ました。

総会では販売実績や栽培成績が優秀だった部会員の表彰も行われ、JA表彰4人、部会表彰8人の計12人に表彰状が贈られました。また、新たに2人の加人を承認し、部会員数は37人となりました。指導員の江藤秀晃職員は「現在は8年産の育苗期に入っているが、計画的な採苗や生育に応じた適正な施肥を徹底し、健苗育成の指導に努めたい。必ず花芽分化を確認してから定植し、圃場準備も含めて遅れないよう管理することが重要になる」とアドバイスしていました。

イチゴ適期定植へ生育状況確認
8月下旬から花芽検鏡が始まる
出荷数量約235万パック見込む

JA阿蘇では2026年産イチゴの定植を前に、8月下旬から花芽検鏡が始まりました。花芽検鏡はイチゴの花芽分化の状況を確認し、定植時期や収穫時期を見極めるための重要な作業です。顕微鏡を使って苗の花芽を確認するため、熟練した技術と経験が求められています。本年産は病害虫の発生が少なく苗の生育も良好に推移。9月上

旬から定植作業が始まっています。

管内では生産者37人（前年比105%）、栽培面積11.8ha（同102%）を見込んでいます。

品種別では、恋みのり78%、ゆうべに21%、さがほのかが1%を占めています。出荷数量は約235万パックを見込んでおり、今後の生育と出荷に期待が高まっています。

花芽検鏡を担当する江藤秀晃指導員は「近年は高温の影響による花芽分化の遅れが懸念されるため、検鏡時にはイチゴ苗の葉数や葉色、圃場ナンバなどを記録し、生産者と花芽分化の傾向を共有している。次年度以降の育苗管理や適期定植の参考につなげ、部会平均で年内収量10a当たり1tの達成を目指したい」と意気込みを語っていました。



(写真Ⅱ)花芽検鏡をする江藤指導員

トルコギキョウ盆需要へ出荷本格化
＝南阿蘇花き部会＝



JA阿蘇南阿蘇花き部会は、8月盆需要に向けたトルコギキョウの収穫・出荷に取り組みました。今年は生産者10人（前年同）が約3ha（同94%）で栽培し、年間62万本の出荷を計画しています。

このうち約10万本を8月盆向けに出荷しました。同部会では3月下旬から8月中旬にかけて順次定植し、7月から11月まで長期間出荷しています。夏場は全国的に産地が限られることから、市場からの需要は高く、安定供給が期待されています。

生産者の田上勇人さんは「梅雨が長く、出荷開始が遅れたが品質は良好。収穫と手入れ、定植が重なり忙しい時期だが、盆需要に間に合うよう一つ一つ丁寧に仕上げて出荷しました」と話しました。（写真Ⅲトルコギキョウの手入れ作業をする田上勇人さん）

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報②

「父の思い胸に就農」
夏秋トマトで未来切り拓く
高木翔太さん（阿蘇市）



父親の逝去をきっかけに就農を決意した阿蘇市の高木翔太さん(29)は、夏秋トマト栽培に挑戦しています。

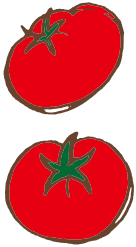
幼い頃から農業は身近な存在でしたが、自ら農作業を手伝う機会は少なく「農業は決して楽ではない」という印象を持っていました。それでも「田んぼだけは続けてほしい」という家族の思いを胸に、新たな一歩を踏み出しました。就農に向けては、受入農家の緑智博さんのもとで準備資金を活用した実技研修を受けるとともに、JA熊本中央会の研修で栽培や経営の基礎を学び、技術を身に付けました。

大玉トマトを栽培しており、研修で学んだ技術に加え、受入農家から助言を受けた液肥管理を実践したことで生育が安定し、栽培技術の向上を実感しています。目標は10a当たり20tの反収で、さらなる収量向上に日々管理方法を工夫しています。

「一株一株を丁寧に」
異業種経験生かし夏秋トマト栽培
中村充志さん（阿蘇市）



令和8年3月に就農した中村充志さん(44)は、阿蘇市で21aのハウスを管理し、夏秋トマトを栽培しています。異業種で培った経験を生かしながら一



就農後は地域の生産者やJA、阿蘇市の支援を受けながら経営も軌道に乗りました。高木さんは「農業を始めて、食べ物や食卓に届くまでには多くの苦労や努力があることを実感しました。食のありがたさを以前より強く感じています」と語り、今後は技術力をさらに高めながら規模拡大を進め、来年には雇用も予定しています。

(写真Ⅱ)地域トップクラスの収量を目指したいと力強く抱負を語りながら誘因作業を行う高木さん

株一株を丁寧に管理し、高品質なトマトづくりに励む新規就農者です。

就農前は山鹿市や阿蘇地域でカフェを経営・運営した後、建設業に従事。建設現場で培った技術は現在のハウスの建設や修繕にも役立ち、「前職で身に付けた経験が農業でも生かせる場面は多い」と話しています。

農業を始めたきっかけは、自宅にハウスがあり、母親がブドウを直売所へ出荷していたことでした。そして中村さんも「収益性が期待できる作物に挑戦したい」と夏秋トマトを選び、新規就農を決意。農業経験は有りませんが、したが、研修で栽培管理やかん水方法などの基礎を学び就農に備えました。

「自分で作業計画を立てて進められるので、思っていたよりやりやすかった」と振り返る一方、収穫期は作業量が増えるため、人員確保には気を配っています。栽培で最も心掛けているのは「一株一株を丁寧に管理すること」。

「葉が果実に触れて傷が付くだけでも品質に影響する。毎日の細かな管理がおいしいトマトにつながる」と話しました。

地域では農地所有者の支援を受け、借り受けていた土地を譲り受けることができたことが大きな励みになったそうです。中村さんは「景色が良く、気持ちよく仕事ができる。地域の皆さん

甘藷生育順調1500t目指す
Ⅱ JA阿蘇西原甘藷部会 Ⅱ



JA阿蘇西原甘藷部会は8月上旬、令和8年産甘藷の出荷に向けた生育調査を西原集荷場で行い、部会員や関係者ら約70人が参加しました。同部会では甘さが濃厚でしつとりとした食感が特長の「シルクスイート」を栽培しています。

調査では担当職員が病害や高温対策、農薬使用などについて説明したほか、村内で被害が増えている有害鳥獣への対策として業者が電気柵の設置方

に支えられていることに感謝しています」と笑顔を見せ、将来の目標は「毎年、家族旅行に行けるような安定した経営を続けること」で、就農を目指す人へ「研修先をよく調べ、自分に合った環境を選んで挑戦してほしい」とエールを送りました。(写真Ⅲ)生育状況を確認しながら芽かき作業をする中村さん

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの情報③

※前ページより続く

法などを紹介しました。

その後、部会員が持ち寄った甘藷を確認。今年は降雨が少なく生育が心配されたものの、概ね順調に生育していることを確認しました。一方、近年課題となっている「空洞症」は、今後の気象条件によって発生が懸念されるため、バイオステイミュラント資材の活用やマルチの種類変更などの対策を進めることとしました。

東厚部会長は「近年、シルクスイートの栽培が難しくなっている。部会一丸となって良いものをつくり、おいしいシルクスイートを多くの人に味わってほしい」とコメントしました。

お盆過ぎから掘り取りを始めた甘藷は9月から出荷されており、販売数量1500tを目指しています。(写真Ⅱ甘藷の生育状態を確認する部会員)

旬の味覚「栗」出荷始まる
査定会で持ち込み要領など共有

ⅡJA阿蘇西原集荷場Ⅱ

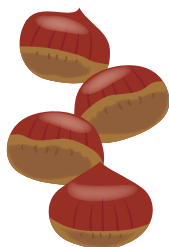
9月1日、西原集荷場に生産者とJA担当職員ら約20人が参加して、令和8年産栗の出荷査定会を開き、持ち込み要領や出荷時の確認事項などを共有しました。

今年の栗は約30人の生産者が出荷。今季は高温や少雨の影響もある中、生

産者は一つ一つの栗を丁寧に管理し、品質の確保に努めています。小玉傾向ではあるものの、岐阜県や熊本県の市場を中心に出荷されています。担当の藤吉友也職員は「生産者が丹精込めて育てた栗を、消費者の皆さんに良い状態で届けられるよう、出荷終了まで徹底した品質管理を行い、出荷に取り組みでいきたい」と語っていました。



写真Ⅱ持ち込み要領や品質を確認する生産者

良質な原木生産へほだ木コンクール
成型駒の部最優秀賞・今永公昭さん
棒駒の部最優秀賞・岩本新一さん
Ⅱ小国郷生しいたけ部会Ⅱ

小国郷生しいたけ部会は9月11日、ほだ木コンクールを行いました。生産者11戸が今年駒打ちした原木20本を持ち寄り、成型駒の部と棒駒の部の2部門で審査しました。

審査では原木を長さ20cm程度に切つて縦半分に割り、皮を剥いで菌糸の伸び具合を確認。内部・表面・木口の3項目をそれぞれ10点満点で評価し、菌糸の伸長状態から原木の仕上がりを競いました。菌糸が順調に伸びている原木ほど、来年のシイタケ発生が期待できます。

審査委員長は森産業(株)熊本出張所の七條真司所長が務めました。講評で七條所長は「梅雨時期は長雨となった一方、夏場は雨不足となり、種駒の初期活着や菌糸の蔓延に遅れが見られた。今後の降雨で遅れを取り戻し、順調な伸長を期待したい。適期作業を続け、シイタケがたくさん発生するほだ木を作ってほしい」と声援を送りました。

審査の結果、成型駒の部で今永公昭さんが最優秀賞を受賞しました。

今永さんは「昨年の秋から適期作業を心掛け、順調に駒打ち作業ができた

ことが受賞につながったと思う。今年も作業を見直し、余分な作業を省きながら、来年も受賞できるよう頑張りたい。今後の栽培管理もしっかり行い、品質の良い原木生しいたけを出荷していきたい」と受賞の喜びを笑顔で語っていました。

同部会の指導担当を務める木下翔太職員は「今回のコンクールで原木の状態を確認できたと思う。今後も栽培管理に気を付け、来年の発生につなげてもらいたい」と話していました。

受賞者は次の通り。(敬称略)

▽成型駒の部Ⅱ最優秀賞・今永公昭、優秀賞・松野英一、奨励賞・渋谷甲二
▽棒駒の部Ⅱ最優秀賞・岩本新一、優秀賞・川原喜一郎、奨励賞・池田敏雄



写真Ⅲほだ木コンクールの様子

親子で阿蘇コシヒカリ収穫 稲刈り体験で農業の大切さ学ぶ



J A阿蘇は9月12日、阿蘇市で食農教育活動の一環として「まるごとあそつ子スクール親子で稲刈り体験イベント」を開きました。管内の小学生と保護者21世帯65人が参加し、特別栽培米「阿蘇コシヒカリ」の収穫を通じて農業や食の大切さを学びました。

参加者は、J A職員から稲刈り鎌の使い方や作業時の注意事項について説明を受けた後、黄金色に実った稲を一株ずつ丁寧に刈り取りました。児童らは保護者と協力しながら作業に取り組み、稲を手作業で収穫する大変さや収穫の喜びを体験しました。

収穫後、J A阿蘇女性部が阿蘇コシヒカリを使っ



て調理したカレーや、阿蘇の特産品であるあか牛の焼き肉が振る舞われました。参加者は収穫した米や地域の農畜産物を味わいながら、親子で交流を深めました。

園田真治職員は「実際に稲刈りを体験することで米が食卓に届くまでの過程や農家の苦勞を知り、農産物の大切さを感じてもらったのではないかと稲刈り体験イベントの意義を話していました。

今回収穫した新米は、後日、参加者の各世帯に2kgずつ届けられる予定です。（写真Ⅱいずれも親子で稲刈り体験イベントの様子）



送電線に**防雀テープ**や**ビニール等**が飛来し停電が発生します

- 風で飛ばないようにしっかりと固定してください
- 感電の危険性があります
- 電線に絡まった防雀テープやビニール等には近づかず九電ハイテックにご連絡ください



防雀テープ



農用ビニール



【連絡先】 (株)九電ハイテック熊本支社送電グループ TEL 096-386-2259

「住みよい地域づくり推進」JA阿蘇女性部 一斉クリーン作戦!

阿蘇町・一の宮・小国郷・蘇陽・高森・西原・南阿蘇の7支部の女性部員らがゴミ回収



JA阿蘇女性部は7月、地域の環境美化を目的とした「一斉クリーン作戦」を管内7支部で実施し、女性部員や青壮年部員、地域住民ら約170人が参加しました。参加者らは、道路沿いや公共施設周辺の清掃活動に取り組み、住みよい地域づくりに汗を流しました。

クリーン作戦では、参加者らが歩道や路肩などに落ちている空き缶やペットボトル、紙くずなどを拾い集め、

地域の景観維持に努めました。一の宮支部では、支所周辺の美化活動の一環として花壇の花植えも実施。女性部と青壮年部が協力して作業を進め、組織の枠を超えた交流を深めながら地域の環境美化に取り組みました。

参加者からは「地域がきれいになると気持ちも晴れやかになる。これからも地域のためにできる活動を続けていきたい」との声が聞かれました。女性部担当の堀川美紀職員は「青壮年部にも参加いただき、一緒に活動することで組織間の交流も深まった。地域を支える仲間として連携しながら、今後も住みよい地域づくりに取り組んでいきたい」と話していました。JA阿蘇女性部では清掃活動をはじめ、食農教育や健康づくりなど地域に根差した活動を展開しています。

今回の「一斉クリーン作戦」は環境美化だけでなく、女性部と青壮年部の連携強化や地域貢献の意識向上にもつながる機会となりました。

阿蘇町支部の皆さん



一の宮支部の皆さん



高森支部の皆さん



小国郷支部の皆さん



西原支部の皆さん



蘇陽支部の皆さん



南阿蘇支部の皆さん





熊本県JA-SS No.1コンテスト
イメージアップ部門セルフSSコース
最優秀賞「JA阿蘇西原給油」



J A阿蘇西原給油所は令和7年度熊本県JA-SS No.1コンテストのイメージアップ部門・セルフSSコースで最優秀賞を受賞しました。

同コンテストはJA熊本経済連が主催。利用者から愛され信頼されるサービスステーションづくりを目指し、サービス力や販売力の向上、スタッフ全体の意思統一を図ることを目的としています。令和7年4月1日から同8年3月31日までの取り組みを対象に、美化・接客サービス・店頭演出の3項目を評価しました。

西原給油所では店舗の美化を徹底するとともに、利用者の目線に立った接客や見やすく親しみやすい店頭演出を継続、実践してきました。スタッフのアイデアを生かした工夫も取り入れ、来店者が気持ちよく利用できる店舗づくりに努めています。今回の最優秀賞

受賞はスタッフ全員の努力とチームワーク、競争意識を持つて店舗づくりに取り組んできた成果といえます。
宅野正美所長は「西原給油所自慢の女性スタッフが季節をテーマにした折り紙の飾り付けなどを行い、来店されたお客様がいつでも気持ちよく給油できるよう、スタッフ全員で取り組んでいます。皆さまのご来店を心よりお待ちしております」と受賞の喜びを話していました。（写真上＝西原給油所の宅野所長〔中央右〕とスタッフの皆さん）

JA阿蘇南部LPガスセンター
販売所マッチレースで優秀賞



齊藤常務より表彰状を受ける永野ガスセンター長（8月20日）

JA阿蘇南部LPガスセンターは、JA熊本経済連が主催する令和7年度JA-LLPガス販売所マッチレースで優秀賞を受賞しました。同マッチレースは業績に基づく運営管理を行い、実績の向上を図るとともに各事業所の優良事例を共有し、LPガス事業全体の活性化につなげることを目的に実施されています。対象期間は令和7年4月

JA資材店舗ディスプレイ
コンテスト熊本県大会
「小国郷購買課」と「グリーン
ショップやまびこ」に特別賞

JA阿蘇小国郷購買課とグリーンショップやまびこは、JA熊本経済連が主催する「第17回JA資材店舗ディスプレイコンテスト熊本県大会」で、それぞれ特別賞を受賞しました。

同コンテストはJA資材店舗の活性化や売れる店づくりを進め、店舗の競争力を高めることを目的に毎年開かれています。両店舗は大型規格の商品から小型規格の商品をボリューム感のある配置・陳列を実施。おすすめ商品が一目で分かるよう工夫するなど、来店者が商品を選びやすい売り場づくりに取り組んだ結果が、今回の受賞に繋がりました。

購買部の渋谷淳部長は「両店舗の1日からの同8年3月31日までの1年間です。今回の受賞は職員が一丸となつて販売活動や顧客対応に取り組む、日頃から利用者のニーズに答えながら着実に実績を積み重ねてきたことが評価されました。」

買店舗全体で進めていきたい」と抱負を語っていました。
JA阿蘇は今回の受賞を励みに、管内の購買店舗全体で、さらに魅力的で利用しやすい売り場づくりを進めていきます。



特別賞受賞の「グリーンショップやまびこ」（写真左）と「小国郷購買課」スタッフの皆さん

♡ よろしくお願ひいたします♡ 令和8年度 新入職員紹介

【7月入組】

こもりた あい
小森田 愛

出身地：菊陽町

趣味：ペットと遊ぶこと

抱負：持ち前の明るさを生かして組合員の皆さんに寄り添い、笑顔で気軽に声を掛けていただける職員を目指して、一日でも早く仕事を覚えていきます。

【10月入組】

すずき りゅうと
鈴木 龍斗

出身地：山形県

趣味：ドライブ

抱負：人との出会いや会話を大切に、組合員の皆さんとのコミュニケーションを積極的に図りながら、信頼して相談していただける職員を目指していきます。

【10月入組】

ふなもと だいき
船本 大幹

出身地：熊本市

趣味：プロ野球観戦・温泉

抱負：阿蘇の農業を支える一員として、現場で多くのことを学びながら知識と経験を積み、地域農業の発展に貢献できる職員を目指します。

【10月入組】

やまぐち りゅうせい
山口 竜聖

出身地：熊本市

趣味：ゲーム・音楽鑑賞

抱負：好きなことに夢中になる気持ちを仕事にも生かし、日々の業務に前向きに取り組みながら知識と経験を身に付け、組合員の皆さんに頼られる職員を目指します。

新入職員 辞令・内示名簿

	氏 名	辞 令・内 示
令和8年 10 月 1 日辞令	小森田 愛	西原支所購買課購買係
令和8年 10 月 1 日内示	鈴木 龍斗	西原支所金融共済係
〃	船本 大幹	営農部中部営農センター営農係
〃	山口 竜聖	営農部南部営農センター営農係

～たき火が原因の火災に注意～

熊本県内では、近年「たき火」が出火原因の1位となっています。



令和7年中に熊本県内で、**たき火が原因の火災は133件**発生しており、**全体の火災件数628件のうち約21%**を占めています。（※速報値）

秋から冬にかけては空気が乾燥し、たき火による火災が増える季節です。風で飛んだ火の粉が思わぬ大火につながる可能性がありますので、十分注意をお願いします。

ごみの野外焼却は原則禁止されています！

ごみの焼却は、煙や悪臭、有害物質が発生し、近隣の人々に迷惑をかけます。このため、『廃棄物の処理及び清掃に関する法律』により、ごみの野外焼却は原則禁止されています（一部例外あり）。

【焼却禁止の例外】

- 農業者が行う稲わら等の焼却
- 林業者が行う伐採した枝の焼却
- 河川管理者が行う伐採した草木の焼却
- どんど焼きなどの地域行事における焼却など

焼却禁止の例外であっても必ず次のことに注意しましょう！

たき火が原因の火災は、**人の不注意により多く発生**しています。

- ☒ 建物の近くで燃やさない！
- ☒ 強風時・乾燥時は燃やさない！
- ☒ 消火の準備をする！
- ☒ 火が消えたか確認する！
- ☒ たき火中はその場を離れない！
- ☒ 少しずつ燃やす！



お問い合わせは、管轄する消防署までお願いします。

JA阿蘇 イラスト違い探し「コスモス」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください！（出題：イラストレーター みやた みゆき）



イラスト違い探し「コスモス」応募方法

上のイラスト 5 か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で 5 名様に

「阿蘇コシヒカリ」5kg(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは令和 8 年 11 月 15 日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「花火大会」答えとプレゼント(トマトLサイズセット)当選者 4 名様



＝答え＝

- ① ハートの花火の向き
- ② うちわの柄
- ③ お母さんの袖の長さ
- ④ 男の子の口
- ⑤ 女の子の髪飾り



阿蘇品様・工藤様・阿南様・江口様

(個人情報保護等の観点から、
当選者の苗字のみを掲載しています)

ハガキ (表)

郵便番号 8692612

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地387-5
JA阿蘇 総務部
「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●ご意見・ご要望

(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他

●年齢

理 事 会 ・ 監 事 会 報 告

令和8年度第8回理事会

- 日時 令和8年8月27日午後1時30分
場所 一の宮中央支所会議室
1. 開会
 2. 組合長挨拶
 3. 協議事項
 - 7月末実績について
 - 1) 貸出金について(案)
 - 2) マネロン等対策にかかる報告について(案)
 - 3) 有価証券保管管理規程の改正について(案)
 - 4) JAバンク等対策にかかる災害緊急特別対策利子補給実施要領(熊本県版)の適用について(案)
 - 5) 共済規程の一部変更について(案)
- 報告事項
- 1) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
 - 2) ATM利用実績について(令和8年7月)
 - 3) 令和8年度 上期決算におけるATMの取扱いについて
 - 4) 令和8年度 上期決算棚卸休業について(購買部)
 - 5) 令和8年度 農機自動車大展示会実績について
 - 6) 令和7年産米在庫数量について(令和8年7月)
 - 7) 令和8年度 上期決算棚卸監査実施要領について
 - 8) 自主検査結果について(令和8年5月)
4. 閉会

令和8年度第9回理事会

- 日時 令和8年9月29日午後1時30分
場所 JA阿蘇本所会議室
1. 開会
 2. 組合長挨拶
 3. 協議事項
 - 8月末実績について
 - 1) 貸出金について(案)
 - 2) 職務権限表の改訂について(案)
 - 3) リスク評価書の定例改正について(案)
 - 4) ハラスメント対応手引き・方針等の改訂について(案)
 - 5) カスタマーハラスメント対応基本方針等の改訂について(案)
- 報告事項
- 1) 余裕金運用状況について(令和8年8月末)
 - 2) 令和8年度(第3四半期) 余裕金運用方針について ↗

- 3) 令和8年度総合展示会実施要領について
 - 4) 波野予冷库改修について
 - 5) 令和7年産米在庫数量について(令和8年8月末)
 - 6) 令和8年度米麦等棚卸監査報告書について
 - 7) JA阿蘇活動総合3カ年計画進捗状況について(令和8年6月末)
 - 8) 自主検査結果について(令和8年7月)
4. 閉会

令和8年度第6回監事会

- 日時 令和8年8月24日午後1時30分～
場所 本所2階第一会議室
1. 開会
 2. 挨拶
 3. 議題
 - 1) 令和7年度決算監事監査回答書について
 - 2) 令和8年度米麦等棚卸監査報告書(案)について
 - 3) 令和8年度上期決算棚卸監査要領(案)について
 - 4) 令和8年度上期決算監事監査日程(案)について
 - 5) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について
- 報告事項
- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
 - ② 令和8年度 第一回常勤理事との定例会議について
 - ③ 令和8年度 監事研修会(Web)開催について
 - ④ 行事予定について
4. 閉会

令和8年度第7回監事会

- 日時 令和8年9月17日午後1時～
場所 本所2階第一会議室
1. 開会
 2. 挨拶
 3. 議題
 - 1) 令和8年度上期決算棚卸監査実施手続きについて
- 報告事項
- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
 - ② 第26期監査法人「監査計画概要説明書」について
 - ③ 熊本県常例検査について
 - ④ 行事予定について
4. 閉会

職員異動のお知らせ(令和8年10月1日辞令)

氏 名	新辞令	旧辞令
原部真寿美	小国郷中央支所金融課長代理兼融資係 (小国郷地区融資専任渉外担当)	小国郷中央支所金融課長代理
山本 孝子	阿蘇町中央支所金融課金融係	金融共済部共済保全課保全係
小林 勝人	金融共済部共済保全課事故相談係	蘇陽支所購買課蘇陽給油所係
橋本 潤一	小国郷中央支所金融課金融係兼融資係	小国郷中央支所金融課金融係
宅野 幸大	阿蘇町中央支所金融課長代理兼融資係 (中部地区融資専任渉外担当)	阿蘇町中央支所金融課長代理兼融資係 (中部地区・北部地区融資専任渉外担当)
藤川 平政	阿蘇町中央支所 J A 阿蘇農機センター係	高森支所 J A 阿蘇農機センター係

JA SS 熊本県下 JA-SS

クーポンを
事前にゲット!
そのまま
PayPayで
支払うだけ!



キャンペーン対象外の店舗も
ありますので、ご不明な点は最
寄りのJA-SSに確認願います。

PayPayでお支払いをすると



✦ PayPayポイント ✦

最大

20%還元

PayPay7-ポコ

2026年 **11/1(日) ▶ 11/30(月)**

(早期終了する場合があります)

[付与上限] 1,000 ポイント/回、2,000 ポイント/期間

*付与されるPayPayポイントは、PayPay/PayPayカード公式ストアでの利用可能。出金・譲渡不可。
*複数のキャンペーンが適用される場合、付与率は最大66.5%となります。詳細はPayPay HPをご確認ください。
[クーポン発行者] 全国農業協同組合連合会 [業務受託者] PayPay株式会社

[キャンペーン参加店舗]

JA阿蘇

阿蘇町SS
西原SS

小国郷SS
蘇陽SS

やまなみSS

先着順でプレゼント!! ジューシー 九州産みかん

期間中、3,000円以上ご利用の
お客様が対象となります。
プレゼントは、なくなり次第
終了となります。

[期間] 2026年

2日間
限定

11/6(金)

11/7(土)



※当キャンペーンは景品表示法に基づいて実施しております。

[キャンペーン参加店舗]

JA阿蘇

一の宮SS 高森SS 久木野SS

熊本県下のJA-SSで実施いたします。

お持ちのスマートフォンから

応募はコチラ

さらに
チャンス!!

**WEBで
カンタン応募!!**

期間中、3,000円以上ご利用の
お客様が対象となります。



<https://www.kumamoto-ja-ss-cp.jp>

総額200万円分 山分け大抽選会

[期間]

2026年

11/1(日) ▶ 11/30(月)

※応募締切 2026年11月30日(月) 23:59

1等 12名様
JCBギフトカード
5万円分

2等 20名様
JCBギフトカード
3万円分

3等 300名様
冷凍米飯

当選発表/キャンペーン終了後、厳選なる抽選を行い賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

[注意事項] ●スマートフォン、およびPCからご参加いただけます。 ●ご応募いただくレシート画像のファイル形式は

JPEGもしくはPNGのみとなり、1回の読取画像容量は5MBとなりますのでご注意ください。

●キャンペーンに参加される方は、WEBサイト記載内容をご確認いただき同意した上でご参加ください。

※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です

令和9年度採用 J A阿蘇職員募集（新卒）

1. 採用職種及び採用予定者数 一般事務職・・・10名程度
2. 受験資格 令和9年3月（来春）までに卒業見込みの者
3. 受験手続 提出書類
 - ①応募時に提出する書類・・・履歴書（JIS規格・写真貼付）
 - ②面接試験日までに提出する書類・・・卒業証明書または卒業証書のコピー

※①の履歴書は11月2日（月）までに下記担当者まで提出ください。
4. 試験日程・内容

【日時・場所】令和8年11月19日（木）13時15分～面接終了まで
〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地543
阿蘇農業協同組合 一の宮中央支所

【試験内容①】（事前Webテスト）基礎能力・適性検査

【試験内容②】面接試験
5. 採用後の待遇
 - ① 給与 大 学 卒 基本給／200,830円～
短大・専門卒 基本給／182,260円～
 - ② 賞与 年2回支給（前年度実績）
 - ③ 昇給 年1回 （前年度実績）
 - ④ 採用時期 令和9年4月1日 採用（3ヶ月間の試用期間あり）

阿蘇農業協同組合（JA阿蘇）総務部 総務人事課

住所：〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
 電話：0967-22-6111 FAX：0967-23-1088
 E-mail：jaaso@jaaso.or.jp 採用担当：工藤・上田



左記のQRコードを読み取るかJA阿蘇ホームページ
<https://www.jaaso.or.jp/>にも掲載しています。
 皆様のご応募を職員一同、心からお待ちしております。
 何でもお気軽にお問い合わせ下さい。